

第 8 7 3 回宮城県教育委員会定例会日程

日 時：平成 2 7 年 1 1 月 1 8 日（水）午後 1 時 3 0 分から

場 所：県行政庁舎 1 6 階 教育委員会会議室

1 出 席 点 呼

2 開 会 宣 言

3 第 8 7 2 回教育委員会会議録の承認について

4 第 8 7 3 回教育委員会会議録署名委員の指名

5 教育長報告

- (1) 職員の交通事故に係る和解について (総 務 課)
- (2) 宮城県教育振興審議会への諮問について (教 育 企 画 室)
- (3) 県立高等学校における物損事故に係る和解について (高 校 教 育 課)

6 議事

- 第 1 号議案 宮城県産業教育審議会専門委員の人事について (高 校 教 育 課)

7 課長報告等

- (1) 東日本大震災に伴う教職員の健康調査（第 3 回）の結果について (福 利 課)
- (2) 平成 2 8 年度宮城県・仙台市公立学校教員採用候補者選考の結果及び臨時
選考の実施について (教 職 員 課)
- (3) 平成 2 6 年度における児童生徒の問題行動等に関する調査〔いじめ〕（宮
城県分）の結果について (義 務 教 育 課 ・ 高 校 教 育 課)
- (4) 平成 2 8 年度宮城県公立高等学校入学者選抜に係る第 1 回志願者予備調査
について (高 校 教 育 課)
- (5) 平成 2 7 年度公立高等学校「みやぎ学力状況調査」の結果について (高 校 教 育 課)
- (6) 「みやぎの協働教育に係る懇話会」の意見書について (生 涯 学 習 課)

8 資料（配付のみ）

- (1) 教育庁関連情報一覧について (総 務 課)
- (2) 宮城の防災教育だより（第 4 号）について (教 職 員 課)
- (3) 平成 2 8 年 3 月高等学校卒業予定者の就職内定状況について (高 校 教 育 課)

9 次回教育委員会の開催日程について

1 0 閉 会 宣 言

（案）

教 企 第 号
平成 年 月 日

宮城県教育振興審議会会長 殿

宮城県知事 村 井 嘉 浩

宮 城 県 教 育 委 員 会

第２期宮城県教育振興基本計画の策定について（諮問）

このことについて，教育振興審議会条例（平成２０年宮城県条例第３号）第１条の規定により，別紙理由書を添えて諮問します。

(別紙)

理 由 書 (案)

本県では、教育施策を総合的かつ計画的に進めていくため、教育基本法第17条第2項の規定に基づき、平成22年3月に「宮城県教育振興基本計画」を策定し、本県教育の振興を図ってきました。

しかしながら、当該計画の策定から5年以上が経過し、人口減少とそれに伴う少子高齢化が急速に進行するとともに、東日本大震災の発生等により、本県の子どもや社会を取り巻く環境が大きく変化する中で、復興後を見据えた次代を担う人づくりに向けた教育がますます重要になっています。

あわせて、地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正に伴い、「宮城県教育振興基本計画」と「宮城県震災復興計画」における目標や施策の根本となる方針を一体的に整理した「教育等の振興に関する施策の大綱」を、本年7月に知事が策定したところであり、改めて本県における教育施策の方向性等を示す必要があるものと考えています。

このようなことから、「宮城県教育振興基本計画」の後継計画として、教育の振興に関する施策の総合的かつ体系的な推進を図るため、本県教育の目指すべき姿とその実現に向けた施策の方向性を示す、「第2期宮城県教育振興基本計画」の策定について諮問するものです。

東日本大震災に伴う教職員の健康調査（第3回）の結果について ～ 速報版 ～

1 目的

東日本大震災に伴う教職員のメンタルヘルスクエア対策の一環として、第1回（平成23年12月実施）・第2回（平成25年6月実施）の調査に引き続き3回目の健康調査を実施し、教職員自らが自らの健康状態を把握し、セルフケアに努めるように啓発する。また、教職員の心身の不調を発見し、早期治療を促すことにより、震災復興を支えていく教職員の健康保持に努める。

2 調査の実施

- (1) 対象者 全教職員（18,859人）
 (2) 調査期間 平成27年6月19日（金）から6月26日（金）まで

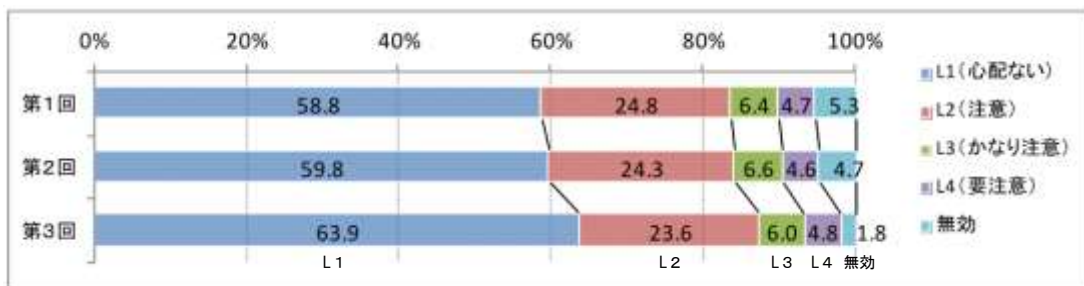
3 調査結果

(1) 精神健康全般に関するチェック

精神健康全般に関しては、6項目の質問により4つのレベルで評価を行った。

レベル1（心配ない）は63.9%（10,151人）、レベル2（注意が必要）は23.6%（3,744人）で、87.5%の教職員はセルフケアで対応可能とされるレベル2以下であり、前回（84.1%）より増えた。

レベル3（かなり注意が必要）は6.0%（949人）、レベル4（要注意）は4.8%（761人）となっており、前回と比べてほぼ変化がなかった。

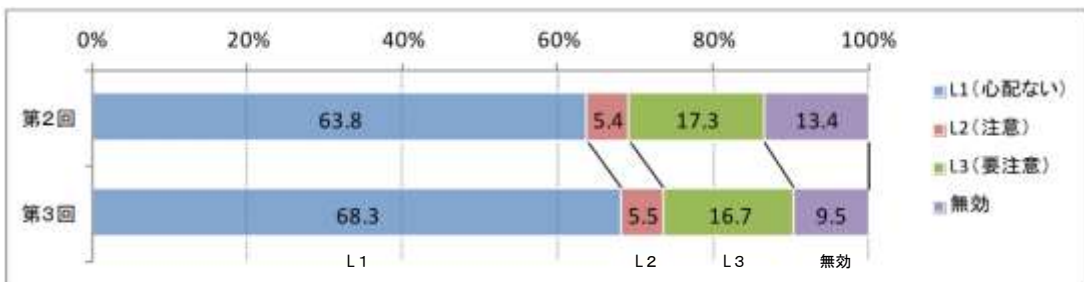


(2) 仕事に関するチェック

仕事に関するチェック（バーンアウト）は、一定期間を経てから症状がでる（症状が進行することが心配されることから前回から調査に加えたもので、3つのレベルで評価を行った。

レベル1（心配ない）は68.3%（10,851人）、レベル2（注意が必要）は5.5%（866人）で、73.8%の教職員はセルフケアで対応可能とされるレベル2以下であり、前回（69.2%）より増えた。

レベル3（要注意）は16.7%（2,660人）となっており、前回と比べてほぼ変化がなかった。



4 まとめ

前回と比較すると精神健康全般に関するチェック、仕事に関するチェックとも、セルフケアで対応可能とされる「心配ない」「注意が必要」の割合が増加している。一方で、「かなり注意が必要」「要注意」の割合にほぼ変化がないことから、引き続き教職員の心身の健康保持を図るため、メンタルヘルスクエア対策を強化し、心身のケアに努める必要がある。

【参考】

1 調査の概要

対象者 全教職員（公立学校共済組合宮城支部組合員）

項目	第1回 平成23年度 震災8月後	第2回 平成25年度 震災2年3月後	第3回 平成27年度 震災4年3月後
調査期間	平成23年11月30日～ 12月6日	平成25年6月21日～ 6月28日	平成27年6月19日～ 6月26日
対象者数	19,046人	18,872人	18,859人
回答者数（回答率）	16,981人（89.2%）	16,113人（85.4%）	15,884人（84.2%）
実施方法	個人	<ul style="list-style-type: none"> ・健康調査票により各自セルフチェックを行った。 ・「精神健康全般に関するチェック」「バーンアウトチェック」の結果を回答者全員に文書で送付した。 ・個別面談や相談機関の案内を同封した。 	
	所属	<ul style="list-style-type: none"> ・分析結果の概要を各所属へ通知した。 	

2 調査結果の概要

調査項目	第1回	第2回	第3回
①業務量 「震災前よりも大幅に増えた」 「震災前よりも増えた」	48.1%（8,163人）	43.0%（6,274人）	45.1%（6,082人）
②体調 「あまり良くない」「悪い」	21.3%（3,621人）	24.7%（3,975人）	21.4%（3,396人）
③睡眠 「あまり眠れない」「眠れない」	21.6%（3,671人）	19.3%（3,111人）	18.1%（2,873人）
④ストレス 「大変強く」「強く感じている」	22.0%（3,741人）	24.6%（3,959人）	24.1%（3,824人）
⑤仕事 この1年間、楽しい・嬉しい と感じたことがない	—	19.0%（3,056人）	16.4%（2,600人）
⑥精神健康全般に関するチェック			
L3 かなり注意が必要	6.4%（1,092人）	6.6%（1,071人）	6.0%（949人）
L4 要注意	4.7%（790人）	4.6%（743人）	4.8%（761人）
⑦トラウマ反応に関するチェック			
L2 セルフケアが必要	1.9%（319人）	—	—
L3 専門期間のケアが必要	2.0%（346人）	—	—
⑧仕事に関するチェック			
L2 セルフケアが必要	—	5.4%（876人）	5.5%（866人）
L3 専門機関のケアが必要	—	17.3%（2,794人）	16.7%（2,660人）

※前回調査より数値が高くなったものは、**太字**で表記。

※①業務量は、震災後に採用された教職員等を除く。

平成28年度宮城県・仙台市公立学校教員採用候補者選考の結果について

1 実施概況

(1) 第1次選考

- 実施日 平成27年7月25日（土）、7月26日（日）
- 会場 筆記試験は高校4校、お茶の水女子大学、実技試験は小学校4校・高校1校

(2) 第2次選考

- 実施日 平成27年9月12日（土）・15日（火）、13日（日）・14日（月）
※9月11日（金）の選考を荒天、交通障害のため15日（火）に延期した。
- 会場 宮城県総合教育センター・美田園高等学校、仙台市教育センター

	出願者数	受験者数 (受験率)	1合格者数	2次受験者数 (受験率)
28年度	3,656	3,335 (91.2%)	1,278	1,255 (98.2%)
27年度	3,894	3,492 (89.6%)	1,284	1,253 (97.5%)
対前年比	-238	-157 (1.6)	-6	+2 (0.7)

2 今年度選考試験の特徴

「志教育」（宮城県）、「仙台自分づくり教育」（仙台市）への取組を推進できる人材、また、宮城県・仙台市における教育諸課題に対応できる人材を数多く採用することができた。

- ① 名簿登載者数は過去10年で最多となった昨年度に次ぐ651名（昨年度657名、一昨年度581名）。名簿登載者数に占める他県現職および講師経験者の割合は53.8%で、即戦力となり得る他県現職および講師経験者が名簿登載者の半数以上を占めている。
- ② 障害者特別選考で2名（小学校、高校理療）を採用。
- ③ 大学院進学・在籍者の名簿登載猶予予定者は17名（昨年度9名）と増加傾向。

3 名簿登載者数

	平成28年度選考				平成27年度選考			
	採用 予定数	1次 合格数	名簿 登載数	対受験 者倍率	採用 予定数	1次 合格数	名簿 登載数	対受験 者倍率
小学校	300程度	540	295	3.2	280程度	542	306	3.4
中学校	180程度	291	165	5.2	200程度	316	164	5.4
中・高		132	75	7.0		111	58	9.3
高等学校	70程度	243	70	10.2	100程度	250	95	7.8
養護教諭	15程度	52	32	7.5	20程度	48	25	10.0
栄養A	若干名	11	9	1.2	若干名	7	6	1.2
栄養B	若干名	9	5	7.0	若干名	10	2	18.5
合計	565程度	1,278	651	5.1	600程度	1,284	656	5.3

4 今後の取組

(1) 新規採用予定者情報交換会の開催

- 対象 平成28年4月の新規採用予定者
- 期日 平成28年1月9日（土）
- 内容 全体会（講話）、分科会（校種別情報交換会）

(2) 平成29年度採用選考説明会の開催

- 県内各大学および東北地区・関東圏の大学において、教員採用選考に関する説明会を実施する。

平成28年度宮城県・仙台市公立学校教員採用候補者臨時選考要項

宮城県教育委員会
仙台市教育委員会

I 採用校種・職種・採用予定者数・出願資格

- 1 採用校種・職種・教科 高等学校・教諭・家庭
- 2 採用予定者数 若干名
- 3 出願資格 次の（1）～（3）の要件をすべて満たしている者。
 - （1）学校教育法第9条及び地方公務員法第16条の欠格条項に該当しない者。
 - （2）次のア、イのいずれかの要件を満たしている者。
 - ア 平成28年4月1日現在有効である高等学校家庭科の教育職員普通免許状（専修又は一種免許状のいずれか）を所有している者又は平成28年3月31日までに取得見込みの者。
 - イ 教育職員免許法第5条第1項各号のいずれにも該当しない者で、特別免許状^{（注1）}取得の意志を有する者。^{（注2）}
 - （3）次の要件を満たしている者。

専門調理師又は調理師であって調理師免許取得後5年以上調理の業務若しくは調理実習について教育研究若しくは実地指導の経験を有する者^{（注3）}。

（注1）特別免許状は、教育職員免許法第5条第3項、第4項に基づき、教育職員検定に合格した者に授与される。（教育職員検定は書類審査及び面接により行う。）

（注2）上記（2）イにより出願し、名簿登載された者は、速やかに宮城県教育委員会に対し特別免許状の申請手続きをすることとする。申請の際の提出書類は、別紙「特別免許状申請に関する提出書類について」を参照すること。手続きにかかる費用は自己負担とする。なお、検定の結果不合格となった場合には、名簿登載を取り消す。

特別免許状を取得する際に、業務に従事した経験や授業に携わった経験をその経験を積んだ所属先から在職期間、職名、業務内容、職務の状況等を詳細に記載した証明を受ける必要がある。

（注3）「調理の業務に従事した経験」とは、専ら調理を行うことを業務としていたことであり、「教育研究又は実地指導の経験」には、養成施設における教職歴も含む。
- 4 その他

「教諭」には、日本国籍を有しない者が任用される「期限を付さない講師（常勤）」が含まれる。

II 出願手続き

- 1 出願期間 平成27年11月4日（水）から平成27年11月20日（金）まで（消印有効）
- 2 出願方法 郵送（簡易書留）に限る。

出願書類一式を、角形2号（24.0 cm×33.2 cm）の封筒に入れ、下記のあて先へ簡易書留で郵送すること（持参による出願は認めない）。封筒の表左下方に「臨時選考出願書類」と朱書すること。
- 3 出願書類
 - （1）採用願書（様式第5号）
 - （2）履歴書（様式第6号）
 - （3）職務実績書（別紙様式）

(4) 配慮事項申出書 ※該当者のみ

受験当日に車いすの使用など、何らかの配慮が必要な場合に提出すること。

(5) 返信用封筒 1通 (出願者名票返信用)

長形3号(12.0 cm×23.5 cm) 定形封筒のあて先に、自分の郵便番号、住所、氏名を記入し、速達と朱書きの上、372円切手を貼付すること。

4 出願書類あて先

〒980-8423 宮城県仙台市青葉区本町3-8-1

宮城県教育庁教職員課教員任用班教員採用担当

5 その他

(1) 提出された書類等は返却しない。

(2) 提出された書類の記載内容に偽りがあった場合は受験を認めない。また、合格を取り消すことがある。

Ⅲ 選考試験

1 第1次選考

(1) 期 日 平成27年12月5日(土)

(2) 会 場 宮城県庁16階 教育庁会議室

(3) 日 程

9:00～9:20 受付

9:20～9:30 諸注意

9:30～10:30 小論文1試験

10:40～11:30 小論文2試験

11:40～12:40 適性試験

(4) 当日持参するもの

①出願者名票(写真を貼付したもの)

②調理師免許証の写し(A4判に縮小したもの)

③返信用封筒1通(1次選考結果通知用)

長形3号(12.0 cm×23.5 cm) 定形封筒のあて先に、自分の郵便番号、住所、氏名を記入し、速達と朱書きの上、372円切手を貼付すること。

④教育職員普通免許状の写し又は取得見込証明書 ※該当者のみ

⑤専門調理師証書の写し(A4判に縮小したもの) ※該当者のみ

2 第2次選考

(1) 期 日 平成27年12月19日(土)

(2) 会 場 宮城県庁16階 教育庁会議室 他

(3) 日 程 第1次選考合格者に結果通知と合わせて通知する。

(4) 当日持参するもの

①出願者名票(1次選考受付印が押印されているもの)

②返信用封筒1通(2次選考結果通知用)

長形3号(12.0 cm×23.5 cm) 定形封筒のあて先に、自分の郵便番号、住所、氏名を記入し、速達と朱書きの上、372円切手を貼付すること。

3 選考内容

試験種目		内容
第1次選考	小論文1 (60分)	教科の指導に関する小論文。(600字以内)
	小論文2 (50分)	教員としての使命感, 適格性を見る小論文。(400字以内)
	適性試験	
第2次選考	模擬授業	<ul style="list-style-type: none"> ・模擬授業前に示された課題内容(教科書等の教材の数ページを指定する等)により指導案(1単位時間分の略案A4判1枚程度)を作成する。 ・作成した指導案の一部について模擬授業を実施し, 授業後に試験官からの質疑に答える。 ・分野は, 「食に関する指導」の授業を行う。
	個人面接1 (20分程度)	<ul style="list-style-type: none"> ・教員としての意欲や, 資質・能力をみる。 ・複数の面接委員による面接を行う。
	個人面接2 (20分程度)	<ul style="list-style-type: none"> ・教育公務員としての使命感や適格性をみる。 ・複数の面接委員による面接を行う。

4 選考基準

(1) 第1次選考

- ・小論文1及び小論文2の結果を選考資料とし, 出願書類の記載内容を勘案して, 総合的に選考する。

選考内容・(配点)	主な評価の観点
小論文1 (100点)	・教員として必要な専門的知識と, 生徒の学習意欲を高めるような指導力とを身に付けているか。
小論文2 (60点)	・出題の意図を的確にとらえ, 自分の考えを明確にし, 適切な表現で論理的に記述できているか。

(2) 第2次選考

- ・模擬授業, 個人面接の結果を選考資料とし, 第1次選考の成績, 提出書類の記載内容を勘案して, 総合的に選考する。

選考内容	評価区分	主な評価の観点
模擬授業	・模擬授業及び指導案を総合的に評価し, AからDまでの4段階評定を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒を惹きつける魅力, 生徒を導く資質と能力, コミュニケーション能力を備えているか。 ・ねらいや指導内容が適切な指導案を作成し, それに基づいた授業が展開できているか。
個人面接	・人物を総合的に評価し, AからDまでの4段階評定を行う。	・教育への情熱や学び続ける意欲等, 教員としてふさわしい資質と能力を備えているか。

IV 選考結果の通知

- 1 第1次選考結果 平成27年12月11日(金)付けで本人あて郵送する。
- 2 第2次選考結果 平成28年1月6日(水)付けで本人あて郵送する。

3 選考結果の情報提供

(1) 第1次選考結果及び第2次選考結果の情報提供については、受験者全員に対して下記のとおり行う。なお、総合成績ランクについては下表のとおりとする。

- ・第1次選考結果：小論文1及び小論文2の得点，並びに選考結果の総合成績ランク
- ・第2次選考結果：模擬授業，個人面接及び実技試験の評定，並びに選考結果の総合成績ランク

第1次選考		第2次選考	
ランク	結果	ランク	結果
A	合格者	A	採用候補者名簿（A）に登載される者
C	不合格者の中で，上位である	B	採用候補者名簿（B）に登載される者
D	不合格者の中で，中位である	C	不合格者の中で，上位である
E	不合格者の中で，下位である	D	不合格者の中で，中位である
		E	不合格者の中で，下位である

4 Webページへの掲載

- (1) 選考結果については，本人あての結果通知のほか，受験者への情報サービスの一環として，宮城県教育庁教職員課のWebページに受験番号を掲載する。
- (2) 正式な発表は本人あての結果通知書によるものとする。また，第2次選考結果において名簿登載者となった場合のA・B登載の別も本人あてに通知する。
- (3) URL： <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/ky-teacher/>
- (4) 掲載期間：第1次結果 平成27年12月11日（金）～12月17日（木）
第2次結果 平成28年1月6日（水）～1月12日（火）

V 名簿登載・採用

- 1 第2次選考の結果，A及びBランクの者を「平成28年度宮城県・仙台市公立学校教員採用候補者名簿」に登載する。
- 2 名簿登載の有効期間は，平成28年4月1日から1年間とする。なお，平成28年3月31日までに免許状が取得できない者は，登載を取り消す。
- 3 教員免許更新制において，免許状の更新等をせず，平成28年4月1日に効力を失っている場合は，登載を取り消す。

VI 勤務条件等

1 給与（平成27年4月1日現在）

- ・初任給

区 分	小・中学校	県立高校・県立特別支援学校
大学院（修士）修了	224,000 円	224,000 円
大学卒	201,900 円	201,900 円
短大卒	179,500 円	176,900 円

- ・前歴加算

民間企業等における職歴がある場合には，この初任給に一定の基準による加算がある。

- ・諸手当

教職調整額，義務教育等教員特別手当，扶養手当，地域手当，住居手当，通勤手当，期末・勤勉手当（年間4ヵ月）などがそれぞれの要件により支給される。

2 勤務時間等

- ・勤務時間 1週間について 38時間 45分
- ・休日等 土曜日, 日曜日, 祝日, 年末年始(12月29日~1月3日)
- ・休暇等 年次有給休暇(4月1日採用の場合は年間15日), 産前産後休暇, 育児休業(無給)等

Ⅶ その他

- 1 第1次選考及び第2次選考いずれにおいても受験科目等のうち1つでも受験しなかった場合には, 選考外とする。
- 2 第1次選考において, 所定の写真を貼付した出願者名票を持参しなかった者については, 原則として受験を認めない。
- 3 第2次選考において, 所定の写真を貼付し, 第1次選考時の受付印のある出願者名票を持参しなかった者については, 原則として受験を認めない。
- 4 第1次選考の小論文1及び小論文2において, 開始時刻30分以降は入室を認めない。(公共交通機関の遅れによる場合を除く。)

Ⅸ 問い合わせ先

宮城県教育庁教職員課 TEL 022-211-3637

(土日, 祝日を除く午前8時30分~午後5時15分)

* 試験の内容に関する問い合わせには応じられない。

平成26年度における児童生徒の問題行動等に関する調査〔いじめ〕 （宮城県分）の結果について

◇文部科学省「児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査（平成26年度における小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校におけるいじめの状況）」による〔平成27年10月27日公表〕

1 調査の趣旨

児童生徒のいじめに関する問題行動等について、全国の状況を調査・分析することにより、教育現場における生徒指導上の取組のより一層の充実に資するとともに、児童生徒の問題行動の未然防止、早期発見・早期対応に繋げていくものとする。

2 調査対象期間

平成26年4月1日～平成27年3月31日

3 調査対象（仙台市を含む国公立小・中学校・高等学校及び中等教育学校在籍児童生徒 H26.5.1現在）

- 小学校 409校(児童数 121,076人)
- 中学校 217校(生徒数 65,039人)
- 高等学校 109校(生徒数 63,548人)
- 特別支援学校 24校(生徒数 2,557人)

※ 中学校には中等教育学校前期課程が、高等学校には中等教育学校後期課程が含まれる。

4 調査結果の概要

① いじめ認知件数・解消率・認知校数

- 小学校、中学校で認知件数が増加し、高等学校及び特別支援学校で減少した。
- 小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校、全ての校種で認知校数が増加した。
- 小学校、中学校、特別支援学校で解消率が高くなった（98%以上）。

種別	校種		
	小学校		
	H26	H25	前年度比較
認知件数(件)	14,532	14,478	+54
解消率(%)	99.7	99.5	+0.2
認知校数(校)	263	241	+22

種別	校種		
	中学校		
	H26	H25	前年度比較
認知件数(件)	2,804	2,741	+63
解消率(%)	98.9	95.6	+3.3
認知校数(校)	166	162	+4

種別	校種		
	高等学校		
	H26	H25	前年度比較
認知件数(件)	274	340	-66
解消率(%)	93.1	93.5	-0.4
認知校数(校)	67	63	+4

種別	校種		
	特別支援学校		
	H26	H25	前年度比較
認知件数(件)	4	8	-4
解消率(%)	100	75.0	+25.0
認知校数(校)	3	2	+1

②いじめの態様

○ 全ての校種で「冷やかしやからかい等」が最も多く、次いで小学校、中学校では、「軽くぶつかられたり、叩かれたり等」、高等学校・特別支援学校では「仲間はずれ、集団による無視」が多かった。
 ○ 「パソコンや携帯電話等で誹謗中傷」が中学校で4番目、高等学校では3番目に多かった。

(小学校)

(複数回答・上位5件)

	種別	H26		H25		前年度比較	
		(件)	(%)	(件)	(%)	(件)	(%)
1	冷やかしやからかい等	7,900	54.4	6,878	47.5	+1,022	+6.9
2	軽くぶつかられたり、叩かれたり等	4,612	31.7	4,688	32.4	-76	-0.7
3	仲間はずれ、集団による無視	3,750	25.8	4,034	27.9	-284	-2.1
4	金品をかくされたり壊されたり等	2,039	14.0	2,203	15.2	-164	-1.2
5	嫌なことや恥ずかしいこと等	1,411	9.7	1,658	11.5	-247	-1.8

(中学校)

(複数回答・上位5件)

	種別	H26		H25		前年度比較	
		(件)	(%)	(件)	(%)	(件)	(%)
1	冷やかしやからかい等	1,982	70.7	1,906	69.5	+76	+1.2
2	軽くぶつかられたり、叩かれたり等	566	20.2	675	24.6	-109	-4.4
3	仲間はずれ、集団による無視	530	18.9	640	23.4	-110	-4.5
4	パソコンや携帯電話等で誹謗中傷	247	8.8	202	7.4	+45	+1.4
5	嫌なことや恥ずかしいこと等	137	4.9	154	5.6	-17	-0.7

(高等学校)

(複数回答・上位4件)

	種別	H26		H25		前年度比較	
		(件)	(%)	(件)	(%)	(件)	(%)
1	冷やかしやからかい等	161	58.8	187	55.0	-26	+3.8
2	仲間はずれ、集団による無視	56	20.4	75	22.1	-19	-1.7
3	パソコンや携帯電話等で誹謗中傷	43	15.7	55	16.2	-12	-0.5
4	軽くぶつかられたり、叩かれたり等	21	7.7	39	11.5	-18	-3.8

(特別支援学校)

(複数回答・上位3件)

	種別	H26		H25		前年度比較	
		(件)	(%)	(件)	(%)	(件)	(%)
1	冷やかしやからかい等	3	75.0	3	37.5	±0	+37.5
2	仲間はずれ、集団による無視	1	25.0	2	25.0	-1	±0
	嫌なことや恥ずかしいこと等	1	25.0	2	25.0	-1	±0

5 県教委としての対応

今回の調査結果については、震災後4年目の小・中・高・特別支援学校のいじめ等の状況を示すものである。全体としては、全ての校種で認知校数が増加し、小・中学校では認知件数も増加している。これらは、指導主事訪問における「いじめ問題等に係る話し合い」等により、教員のいじめに対する意識が高まるとともに、各学校が「学校いじめ防止基本方針」に基づき、アンケート調査や面談を通してきめ細かな対応を行うことにより、比較的軽微ないじめも見逃さず、早期発見・早期対応に努めてきた成果であると考えられる。

いじめの多くがストレスやコミュニケーション能力の不足に起因するとされており、基本的な生活習慣を形成する上で不可欠である乳幼児期の養育環境が、震災以降、厳しい状況にあることから、これまで以上に児童生徒一人一人の心の状態を把握しながら、いじめをはじめとした問題行動等の未然防止、早期発見・早期対応への取組の強化を促していかなければならない。

県教育委員会としては、「いじめは決して許さない。」という決意を全教職員で改めて確認するとともに、生徒指導を充実させる上からも、「学力向上に向けた5つの提言」に基づいた分かる授業の実践を促していくことで、いじめを生まない学校づくりを推進していく。更に、学校がチームとして対応できる体制整備、保護者や関係機関との連携の強化を図るとともに、生徒指導上の課題を抱える学校に対して積極的な支援を行っていくために以下のような取組を進めていく。

いじめ問題への対応

【重点】

- ① いじめを生まない学校づくりを促す。
- ② 学校いじめ防止基本方針と法に基づいた組織についての点検と見直しの徹底及び関係機関と連携した実効性のある指導体制の構築を促す。
- ③ 実践的な研修を実施し、いじめた児童生徒及び保護者への対応も含め、教員の対応力の向上を図る。

学校の指導体制の充実



いじめの未然防止、
早期発見・早期対応、継続的な見守り



学校と関係機関との連携
強化

学校いじめ防止基本方針の点検と見直し

- ・「個人ノート」や「生活ノート」の活用
- ・月1回程度のアンケートの実施
- ・定期的な面談の実施
- ・いじめた子、いじめられた子の継続的な見守り、面談
- ・保護者との緊密なコミュニケーション

いじめを許さない、いじめを生まない学校づくり

- ① 生徒指導の3機能を生かした授業づくりについての指導・助言
- ② 相手の心情を理解し、思いやる心や規範意識を育成する教育等の指導・助言
- ③ 道徳教育や体験活動の推進

実効性のある指導体制

いじめ防止対策推進法に基づき、「学校いじめ防止基本方針」の点検と見直しを確実に実施と実効性のある校内指導体制の構築を促す。

- ① 指導主事学校訪問において「学校いじめ防止基本方針」を点検し、指導・助言する。
- ② 「いじめ問題対策委員会」を核とした組織的な指導体制の構築を促す。
- ③ 市町村教育委員会と常に情報を共有し、関係機関と連携して対応する体制の整備を促す。

教員の対応力の向上

- ① 指導主事学校訪問における教員への指導・助言

指導主事学校訪問における「いじめ問題等に係る話し合い」において、いじめを行った児童生徒及び保護者への指導についても実践的な研修を行う。

- ② 指導の手引き等の作成及び研修会での活用

- 24時間子供SOSダイヤル
- みやぎアドベンチャープログラム
指導者研修会・研修講師派遣
- みやぎいじめ問題を考えるフォーラム(小、中)
- みやぎいじめゼロCMコンクール(小、中)
- みやぎ高校生マナーアップフォーラム(高)
- スクールカウンラーの配置・派遣
- 教育事務所専門カウンセラーの配置(小・中)
- 生徒指導アドバイザーの派遣
- 生徒指導教員加配
- 生徒指導支援員の配置(小・中)
- 生徒指導サポーターの配置(高)
- 問題が深刻化したときの支援チームの派遣(高)
- 学校警察連絡協議会の設置・開催
- 学校裏サイト等監視事業
- 生徒指導主事(主任)研修会(小、中)
- 生徒指導主事連絡協議会・研修会(高)
- 問題行動等対応研修会(小、中)
- みやぎいじめ問題を考えるフォーラム引率教員研修会(小、中)
- ネットパトロールスキルアップ研修

いじめ問題対策連絡協議会の開催

いじめ防止対策調査委員会の開催

全ての児童生徒が「行きたくなる学校」づくりを目指す

「学力向上に向けた5つの提言」に基づいた分かる授業の実践

- 生徒指導の3機能を生かした授業づくりの推進
- 自己決定
 - 自己存在感
 - 共感的人間関係

「志教育」の推進

志教育の視点による授業の充実

平成２８年度宮城県公立高等学校入学者選抜に係る 第１回志願者予備調査について

1 調査目的

志願状況の概数を把握することで、受験生の高校選択及び中学校の進路指導等の参考資料とする

2 調査対象学校数

- ・ 県内の国立・公立・私立の中学校（２１１校）
- ・ 中等教育学校（１校）
- ・ 特別支援学校中学部（１８校）
- ・ 県境隣接地域協定に係る中学校 岩手県（１３校）及び福島県（９校）

合計 ２５２校

3 入学者選抜実施高等学校数・学科（コースを含む）数

- | | | | |
|----------|------------|-------|-------|
| （１）全日制課程 | 県立６６校，市立４校 | 計７０校 | １３６学科 |
| （２）定時制課程 | 県立１１校，市立２校 | 計１３校 | ２１学科 |
| | | 合計７５校 | １５７学科 |

※全日制課程と定時制課程の設置校は８校

4 総括

		全日制課程				定時制課程			
		H28	H27	増減	H24	H28	H27	増減	H24
中学校卒業予定者数 (H27.5.1現在)		21,723	21,756	▲ 33	21,999				
志願者調査	募集定員	14,760	14,920	▲ 160	15,160	1,000	1,000	0	1,040
	志願者	17,937	17,945	▲ 8	18,585	300	347	▲ 47	378
	倍率	1.22	1.20	0.02	1.23	0.30	0.35	▲ 0.05	0.36
前期選抜調査	募集人数	4,842	4,828	14	5,066	308	308	0	295
	志願者	8,545	7,964	581	5,302	98	95	3	25
	倍率	1.76	1.65	0.11	1.05	0.32	0.31	0.01	0.08

※前期選抜調査のH24の値は推薦入試出願状況のもの

5 各高校の入学志願状況（第1回予備調査）

《全日制課程》

学校名	学科・コース	平成28年度 募集 定員	前期選抜 募集 人数	第1回志願者予備調査				左のうち 前期選抜志望者数				平成27年度		
				男	女	計	倍率	男	女	計	倍率	第1回 予備調査 倍率	前期選抜 出願倍率	後期選抜 出願倍率
1 白石	普通科	240	72	158	131	289	1.20	62	52	114	1.58	1.06	1.08	1.13
	看護科 ●	40	12	5	69	74	1.85	2	29	31	2.58	1.75	1.58	1.54
2 蔵王	普通科	80	24	22	27	49	0.61	7	9	16	0.67	0.25	0.58	0.33
3 白石工	機械科 ◎	80	32	92	4	96	1.20	55	3	58	1.81	0.85	1.78	0.81
	電気科 ◎	40	16	31	1	32	0.80	21	0	21	1.31	0.85	1.88	0.38
	工業化学科 ◎	40	16	26	13	39	0.98	15	8	23	1.44	0.55	1.13	0.83
	建築科 ◎	40	16	38	10	48	1.20	28	9	37	2.31	1.55	2.56	1.29
	設備工業科 ◎	40	16	29	5	34	0.85	15	1	16	1.00	0.60	1.31	1.33
4 村田	総合学科	120	48	59	40	99	0.83	21	22	43	0.90	0.76	0.54	0.82
5 柴田農林 川崎	食農科学科・動物科学科◎★	80	32	47	35	82	1.03	24	21	45	1.41	1.08	2.28	1.23
	森林環境科・園芸工学科◎★	80	32	20	8	28	0.35	13	7	20	0.63	0.73	1.91	1.25
	普通科	40	12	11	17	28	0.70	3	6	9	0.75	0.55	0.83	0.55
6 大河原商	流通マネジメント科◎	80	32	31	64	95	1.19	15	40	55	1.72	1.14	1.75	1.13
	情報システム科 ◎	80	32	45	24	69	0.86	26	16	42	1.31	0.94	1.44	1.06
	〇A会計科 ◎	40	16	3	35	38	0.95	1	21	22	1.38	0.68	1.56	0.92
7 柴田	普通科	120	36	62	51	113	0.94	33	14	47	1.31	0.94	0.64	1.15
	体育科 ●	40	28	46	17	63	1.58	40	13	53	1.89	1.70	2.14	1.25
刈田柴田 地区 計		1,280	472	725	551	1,276	1.00	381	271	652	1.38	0.91	1.37	0.97
8 角田	普通科	160	48	69	76	145	0.91	34	48	82	1.71	1.11	1.52	0.99
9 伊具	総合学科	120	36	43	33	76	0.63	11	11	22	0.61	0.73	0.81	0.92
伊具 地区 計		280	84	112	109	221	0.79	45	59	104	1.24	0.95	1.21	0.96
南部 地区 合計		1,560	556	837	660	1,497	0.96	426	330	756	1.36	0.91	1.35	0.97
10 名取	普通科	240	72	162	196	358	1.49	53	86	139	1.93	1.33	1.51	1.52
	家政科 ●	40	16	2	73	75	1.88	1	42	43	2.69	2.00	2.19	2.29
11 名取北	普通科	280	84	137	225	362	1.29	35	89	124	1.48	1.25	1.08	1.29
12 亘理	普通科・普通コース ◎	40	16	23	15	38	0.95	8	4	12	0.75	1.00	0.94	1.48
	普通科・園芸コース ◎	40	16	21	9	30	0.75	5	4	9	0.56	1.15	0.06	1.03
	食品化学科 ◎	40	16	26	15	41	1.03	6	8	14	0.88	0.73	0.63	0.93
	商業科 ◎	40	16	13	4	17	0.43	1	3	4	0.25	0.55	0.44	0.82
	家政科 ◎	40	16	1	25	26	0.65	1	11	12	0.75	0.80	0.63	1.17
13 宮城農	農業科・園芸科 ◎★	120	48	74	64	138	1.15	45	40	85	1.77	1.18	2.52	1.46
	農業機械科 ◎	40	16	51	2	53	1.33	33	1	34	2.13	1.03	2.44	1.67
	食品化学科 ◎	40	16	25	30	55	1.38	13	23	36	2.25	1.15	2.50	1.38
	生活科 ◎	40	16	15	35	50	1.25	6	23	29	1.81	0.88	1.31	0.75
亘理名取 地区 計		1,000	348	550	693	1,243	1.24	207	334	541	1.55	1.18	1.43	1.34
14 仙前一	普通科	320	64	367	256	623	1.95	233	193	426	6.66	1.95	5.80	1.32
15 仙台二華	普通科 ■	240	40	57	159	216	0.90	9	55	64	1.60	0.90	1.46	0.77
16 仙台三桜	普通科	280	84	59	367	426	1.52	15	160	175	2.08	1.76	1.73	1.73
17 仙台向山	普通科 ◎	160	48	106	126	232	1.45	48	82	130	2.71	1.55	2.38	1.46
	理数科 ◎	40	16	23	10	33	0.83	6	6	12	0.75	1.35	1.00	2.20
18 仙台南	普通科	280	84	247	279	526	1.88	83	143	226	2.69	1.87	1.88	1.29
19 仙台西	普通科	280	84	159	184	343	1.23	46	94	140	1.67	1.23	1.40	1.48
20 仙台東	普通科	240	72	170	174	344	1.43	46	71	117	1.63	1.22	1.26	1.29
	英語科 ●	40	12	14	37	51	1.28	6	16	22	1.83	1.20	1.17	1.36
21 宮城工	機械科 ◎	80	32	137	2	139	1.74	79	2	81	2.53	1.79	2.06	1.42
	電子機械科 ◎	40	16	51	6	57	1.43	29	3	32	2.00	1.65	2.81	2.33
	電気科 ◎	80	32	81	1	82	1.03	48	0	48	1.50	1.36	2.66	1.46
	情報技術科 ◎	40	16	59	17	76	1.90	36	10	46	2.88	2.13	3.19	1.79
	化学工業科 ◎	40	16	18	14	32	0.80	13	11	24	1.50	1.15	2.25	1.79
	インテリア科 ◎	40	16	28	50	78	1.95	18	36	54	3.38	1.93	3.56	1.71
22 仙台工※	建築科 ◎	30	12	62	16	78	2.60	27	7	34	2.83	2.50	2.11	1.76
	機械科 ◎	70	28	117	2	119	1.70	40	0	40	1.43	1.43	1.29	1.82
	電気科 ◎	70	28	68	4	72	1.03	22	2	24	0.86	1.13	1.57	2.14
	土木科 ◎	30	12	49	3	52	1.73	16	2	18	1.50	1.63	1.56	1.19
仙台南 地区 計		2,400	712	1,872	1,707	3,579	1.49	820	893	1,713	2.41	1.53	2.19	1.45
中部南 地区 合計		3,400	1,060	2,422	2,400	4,822	1.42	1,027	1,227	2,254	2.13	1.43	1.94	1.42

5 各高校の入学志願状況（第1回予備調査）

《全日制課程》

学校名	学科・コース	平成28年度 募集 定員	前期選抜 募集 人数	第1回志願者予備調査				左のうち 前期選抜志望者数				平成27年度		
				男	女	計	倍率	男	女	計	倍率	第1回 予備調査 倍率	前期選抜 出願倍率	後期選抜 出願倍率
23 仙台二	普通科	320	96	219	156	375	1.17	121	124	245	2.55	1.26	2.55	1.28
24 仙台三	普通科	240	72	362	196	558	2.33	200	139	339	4.71	2.13	3.67	1.82
	理数科 ●	80	32	59	8	67	0.84	32	5	37	1.16	1.45	2.56	1.67
25 宮城一	普通科 ◎	200	60	45	261	306	1.53	11	170	181	3.02	1.01	2.23	1.19
	理数科 ◎	80	32	17	23	40	0.50	6	13	19	0.59	0.88	1.25	2.13
26 宮城広瀬	普通科	280	70	147	184	331	1.18	33	63	96	1.37	1.29	1.20	1.60
27 泉	普通科	240	72	268	271	539	2.25	47	96	143	1.99	1.81	1.17	1.73
	英語科 ●	40	16	16	46	62	1.55	8	26	34	2.13	1.83	1.44	1.79
28 泉松陵	普通科	280	84	166	137	303	1.08	37	40	77	0.92	1.00	1.00	1.43
29 泉館山	普通科	280	84	156	218	374	1.34	28	80	108	1.29	1.46	1.00	1.34
30 宮城野	普通科	160	32	112	134	246	1.54	21	50	71	2.22	1.50	1.91	1.31
	美術科 ◎	40	20	8	61	69	1.73	7	48	55	2.75	1.98	3.55	1.85
	総合学科 ●	80	24	31	57	88	1.10	8	36	44	1.83	1.19	1.29	1.34
31 仙 台※	普通科	280	84	237	219	456	1.63	65	94	159	1.89	1.58	2.05	1.61
32 仙 台 商※	商業科	320	128	230	273	503	1.57	84	110	194	1.52	1.79	1.65	1.73
仙 台 北 地 区 計		2,920	906	2,073	2,244	4,317	1.48	708	1,094	1,802	1.99	1.47	1.84	1.53
33 塩 釜	普通科	320	80	239	266	505	1.58	74	113	187	2.34	1.53	1.25	1.51
	ビジネス科	80	24	54	58	112	1.40	13	24	37	1.54	1.01	1.08	1.30
34 多 賀 城	普通科	240	72	191	178	369	1.54	117	122	239	3.32	1.31	2.90	1.28
	災害科学科 ●	40	16	28	12	40	1.00	20	11	31	1.94	—	—	—
35 松 島	普通科	120	36	103	106	209	1.74	39	50	89	2.47	1.94	3.97	2.00
	観光科 ●	80	24	20	50	70	0.88	6	25	31	1.29	0.75	1.79	1.46
36 利 府	普通科	200	60	140	110	250	1.25	53	62	115	1.92	1.18	1.53	1.04
	スポーツ科学科 ●	80	56	104	25	129	1.61	78	23	101	1.80	1.76	2.04	1.88
塩 釜 地 区 計		1,160	368	879	805	1,684	1.45	400	430	830	2.26	1.39	2.09	1.41
37 黒 川	普通科 ◎	80	24	55	51	106	1.33	13	23	36	1.50	1.35	1.19	0.95
	機械科 ◎	80	32	67	1	68	0.85	18	0	18	0.56	1.13	1.46	1.20
	電子工学科 ◎	40	16	25	5	30	0.75	9	3	12	0.75	0.80	0.92	0.77
	環境技術科 ◎	40	16	26	28	54	1.35	7	14	21	1.31	0.85	1.33	0.96
38 富 谷	普通科・人文コース ◎	120	48	77	124	201	1.68	13	42	55	1.15	1.76	1.27	1.72
	普通科・国際コース ◎	80	32	20	49	69	0.86	6	22	28	0.88	1.24	1.13	1.54
	普通科・理数コース ◎	80	32	63	26	89	1.11	10	15	25	0.78	1.35	1.19	1.69
黒 川 地 区 計		520	200	333	284	617	1.19	76	119	195	0.98	1.31	1.23	1.32
中 部 北 地 区 合 計		4,600	1,474	3,285	3,333	6,618	1.44	1,184	1,643	2,827	1.92	1.43	1.83	1.48
39 古 川	普通科	240	72	168	147	315	1.31	111	103	214	2.97	1.25	2.54	1.19
40 古川黎明	普通科 ■	240	40	98	199	297	1.24	14	82	96	2.40	1.02	1.58	0.84
41 岩 出 山	普通科	120	36	48	31	79	0.66	14	16	30	0.83	0.58	1.17	0.55
42 中 新 田	普通科	120	36	42	59	101	0.84	23	28	51	1.42	0.84	1.86	0.88
43 松 山	普通科	40	12	5	12	17	0.43	2	4	6	0.50	0.43	0.58	0.38
	家政科 ●	40	16	1	32	33	0.83	0	20	20	1.25	0.45	1.13	0.67
44 加 美 農	農業科 ◎	40	16	14	5	19	0.48	4	4	8	0.50	0.68	1.06	0.75
	農業機械科 ◎	40	16	23	1	24	0.60	8	1	9	0.56	0.48	0.88	0.46
	生活技術科 ◎	40	16	2	12	14	0.35	2	8	10	0.63	0.58	1.06	0.25
45 古 川 工	土木情報科 ◎	40	16	51	16	67	1.68	27	8	35	2.19	2.15	1.00	1.63
	建築科 ◎	40	16	37	23	60	1.50	21	14	35	2.19	1.00	0.88	1.15
	電気電子科 ◎	40	16	25	3	28	0.70	15	0	15	0.94	1.18	1.19	0.96
	機械科 ◎	80	32	98	1	99	1.24	40	0	40	1.25	1.35	1.25	1.35
	化学技術科 ◎	40	16	18	43	61	1.53	10	17	27	1.69	1.68	0.88	1.26
46 鹿島台商	商業科	120	48	35	20	55	0.46	22	12	34	0.71	0.38	0.90	0.51
大 崎 地 区 計		1,280	404	665	604	1,269	0.99	313	317	630	1.56	0.95	1.42	0.88
47 涌 谷	普通科	160	48	40	50	90	0.56	15	32	47	0.98	0.66	1.17	0.93
48 小 牛 田 農 林	農業技術科・農業科学コース◎	40	16	27	27	54	1.35	15	17	32	2.00	0.90	1.44	1.46
	農業技術科・農業土木コース◎	40	16	47	4	51	1.28	23	1	24	1.50	1.00	1.25	1.38
	総合学科	120	48	62	111	173	1.44	35	78	113	2.35	1.57	2.38	1.29
49 南 郷	普通科	40	12	11	13	24	0.60	4	7	11	0.92	0.35	0.42	0.43
	産業技術科	40	16	18	9	27	0.68	5	4	9	0.56	0.45	0.69	0.69
遠 田 地 区 計		440	156	205	214	419	0.95	97	139	236	1.51	0.91	1.47	1.01

5 各高校の入学志願状況（第1回予備調査）

《全日制課程》

学校名	学科・コース	平成28年度 募集 定員	前期選抜 募集 人数	第1回志願者予備調査				左のうち 前期選抜志望者数				平成27年度		
				男	女	計	倍率	男	女	計	倍率	第1回 予備調査 倍率	前期選抜 出願倍率	後期選抜 出願倍率
50 佐 沼	普通科	240	72	124	176	300	1.25	71	126	197	2.74	1.05	2.04	0.95
51 登 米	普通科	120	36	63	102	165	1.38	35	67	102	2.83	1.16	1.64	0.77
52 登米総合産業	農業科 ◎	40	16	29	9	38	0.95	14	4	18	1.13	0.83	0.94	1.24
	機械科 ◎	40	16	40	1	41	1.03	15	0	15	0.94	0.95	1.44	0.96
	電気科 ◎	40	16	23	1	24	0.60	9	1	10	0.63	0.33	1.06	0.88
	情報技術科 ◎	40	16	14	14	28	0.70	3	7	10	0.63	0.80	1.13	1.46
	商業科 ◎	40	16	6	14	20	0.50	2	8	10	0.63	0.53	1.06	0.42
	福祉科 ◎	40	16	8	26	34	0.85	3	15	18	1.13	0.95	1.38	0.88
登米地区計		600	204	307	343	650	1.08	152	228	380	1.86	0.94	1.56	0.92
53 築 館	普通科	160	48	76	95	171	1.07	44	53	97	2.02	0.93	1.44	0.96
54 岩ヶ崎	普通科・文系教養コース◎	80	32	29	26	55	0.69	18	17	35	1.09	0.75	0.78	0.60
	普通科・理系教養コース◎	40	16	10	4	14	0.35	4	3	7	0.44	0.73	1.13	0.38
55 迫 桜	総合学科	200	80	79	87	166	0.83	39	50	89	1.11	1.02	1.23	0.86
56 一迫商	流通経済科 ◎	40	16	14	5	19	0.48	6	2	8	0.50	0.48	1.00	0.63
	情報処理科 ◎	40	16	15	9	24	0.60	6	5	11	0.69	0.33	0.31	0.63
栗原地区計		560	208	223	226	449	0.80	117	130	247	1.19	0.83	1.12	0.77
北部地区合計		2,880	972	1,400	1,387	2,787	0.97	679	814	1,493	1.54	0.92	1.39	0.89
57 石 巻	普通科	240	72	142	120	262	1.09	99	87	186	2.58	1.05	2.58	1.02
58 石巻好文館	普通科	200	60	50	143	193	0.97	20	75	95	1.58	1.36	1.70	1.16
59 石巻西	普通科	200	60	91	156	247	1.24	33	87	120	2.00	1.30	1.17	1.24
60 石巻北	総合学科	200	80	92	84	176	0.88	34	50	84	1.05	1.26	1.19	1.55
61 宮城水産	海洋総合科	160	64	72	19	91	0.57	43	10	53	0.83	0.57	1.09	0.62
62 石巻工	機械科 ◎	80	32	106	3	109	1.36	71	0	71	2.22	0.99	1.78	0.85
	電気情報科 ◎	40	16	37	1	38	0.95	25	1	26	1.63	1.33	2.13	0.83
	化学技術科 ◎	40	16	11	5	16	0.40	7	3	10	0.63	0.88	1.38	1.33
	土木システム科 ◎	40	16	63	1	64	1.60	41	1	42	2.63	1.20	1.75	0.96
	建築科 ◎	40	16	54	16	70	1.75	38	11	49	3.06	1.25	2.25	1.08
63 石巻商	総合ビジネス科	200	80	85	95	180	0.90	46	61	107	1.34	0.86	1.26	0.89
64 桜 坂※	普通科・学励探求コース◎	120	48	0	52	52	0.43	0	41	41	0.85	0.65	1.69	0.71
	普通科・キャリア探求コース◎	80	32	0	74	74	0.93	0	57	57	1.78	0.86	2.41	0.98
石巻地区計		1,640	592	803	769	1,572	0.96	457	484	941	1.59	1.04	1.62	1.04
65 気仙沼	普通科	240	72	122	128	250	1.04	54	75	129	1.79	1.11	1.33	1.09
66 気仙沼西	普通科	80	24	28	68	96	1.20	8	26	34	1.42	0.93	0.75	0.82
67 志津川	普通科 ☆	80	4	41	18	59	0.74	3	0	3	0.75	0.69	0.50	0.03
	情報ビジネス科 ☆	40	4	5	8	13	0.33	0	0	0	0.00	0.43	0.00	0.16
68 本吉響	総合学科	120	36	42	33	75	0.63	13	16	29	0.81	0.73	0.61	0.83
69 気仙沼向洋	情報海洋科 ◎	40	16	36	2	38	0.95	14	2	16	1.00	0.80	0.81	0.68
	産業経済科 ◎	40	16	17	38	55	1.38	11	19	30	1.88	0.90	1.75	0.96
	機械技術科 ◎	40	16	52	3	55	1.38	32	1	33	2.06	0.95	1.44	0.79
本吉地区計		680	188	343	298	641	0.94	135	139	274	1.46	0.88	1.01	0.83
東部地区合計		2,320	780	1,146	1,067	2,213	0.95	592	623	1,215	1.56	0.99	1.48	0.97
全 日 制 合 計		14,760	4,842	9,090	8,847	17,937	1.22	3,908	4,637	8,545	1.76	1.20	1.65	1.22

◎は後期選抜において、出願学科以外のいずれか1つを第2志望とできる学科(柴田農林においては川崎校を除く)、●は後期選抜において、普通科を第2志望にできる学科、★は一括募集、☆は連携型入試を実施する学科、※は市立高等学校を示す。■は併設中学校からの入学を含む。

5 各高校の入学志願状況（第1回予備調査）

《定時制課程》

学校名	学科・コース	平成28年度 募集 定員	前期選抜 募集 人数	第1回志願者予備調査				左のうち 前期選抜志望者数				平成27年度		
				男	女	計	倍率	男	女	計	倍率	第1回 予備調査 倍率	前期選抜 出願倍率	後期選抜 出願倍率
1 白石七ヶ宿	普通科 / 昼	40	12	7	3	10	0.25	2	1	3	0.25	0.20	0.42	0.14
2 大河原商	普通科 / 夜	40	8	1	2	3	0.08	0	1	1	0.13	0.18	0.00	0.25
3 宮城二工	電子機械科 / 夜 ◎	40	16	3	1	4	0.10	1	1	2	0.13	0.18	0.38	0.16
	電気科 / 夜 ◎	40	16	1	0	1	0.03	1	0	1	0.06	0.03	0.13	0.03
4 名 取	普通科 / 夜	40	12	4	2	6	0.15	3	0	3	0.25	0.23	0.33	0.25
5 貞 山	普通科 / 昼	120	36	30	27	57	0.48	7	12	19	0.53	0.49	1.31	0.76
	普通科 / 夜	40	12	9	1	10	0.25	4	0	4	0.33	0.25	0.42	0.19
6 古川工	機械科 / 夜 ◎	40	12	6	0	6	0.15	1	0	1	0.08	0.13	0.17	0.16
	電気科 / 夜 ◎	40	12	1	2	3	0.08	1	0	1	0.08	0.13	0.25	0.05
7 田尻さくら	普通科 / I部（午前）	80	24	12	13	25	0.31	5	5	10	0.42	0.58	1.04	0.54
	普通科 / II部（午後夕間）	40	12	4	1	5	0.13	2	1	3	0.25	0.13	0.08	0.21
8 佐 沼	普通科 / 夜	40	12	1	2	3	0.08	0	2	2	0.17	0.15	0.08	0.26
9 東松島	普通科 / I部（午前）◎	40	12	17	14	31	0.78	11	2	13	1.08	1.15	1.92	0.71
	普通科 / II部（午後）◎	40	12	9	9	18	0.45	1	4	5	0.42	0.53	1.00	1.21
	普通科 / III部（夜間）◎	40	12	4	4	8	0.20	0	3	3	0.25	0.18	0.17	0.32
10 石巻北飯野川	普通科 / 昼	40	12	5	4	9	0.23	1	0	1	0.08	0.25	0.42	0.31
11 気仙沼	普通科 / 夜	40	8	1	1	2	0.05	0	0	0	0.00	0.10	0.13	0.15
12 仙台大志※	普通科 / I部（午前午後）◎	90	27	40	30	70	0.78	7	14	21	0.78	0.73	2.19	1.03
	普通科 / II部（午後夜間）◎	30	9	11	4	15	0.50	1	2	3	0.33	0.43	1.22	0.71
13 仙 台 工 ※	建築土木科 / 夜 ◎	40	16	2	1	3	0.08	2	0	2	0.13	0.13	0.44	0.29
	機械科 / 夜 ◎	40	16	11	0	11	0.28	0	0	0	0.00	0.18	0.56	0.26
定 時 制 合 計		1,000	308	179	121	300	0.30	50	48	98	0.32	0.35	0.75	0.41

◎は後期選抜において、出願学科以外のいずれか1つを第2志望とできる学科、※は市立高等学校を示す。

《連携型選抜》

学校名	学科・コース	平成28年度 募集 定員	連携型 選抜 募集人数	連携型選抜出願者数等				
				平成28年度			平成27年度	
				男	女	計	出願者数	合格者数
67 志津川	普通科	80	72	33	18	51	85	83
	情報ビジネス科	40	34	3	7	10	10	9
連 携 型 選 抜 合 計		120	106	36	25	61	95	92

補助資料

1 志願者調査(全日制)

年度	H28	H27	H26	H25	H24※
中学校卒業生	21,723	21,756	22,011	21,782	21,999
募集定員	14,760	14,920	15,080	15,160	15,160
志願者数	17,937	17,945	18,127	18,096	18,585
志願倍率	1.22	1.20	1.20	1.19	1.23

※H24の値は旧制度実施時のもの

2 前期選抜調査(全日制)…地区別

地区	H28	H27	H26	H25	H24※
南部	1.36	1.18	1.58	1.63	0.69
中部南	2.13	1.85	2.64	2.82	1.32
中部北	1.92	1.93	2.59	2.96	1.31
北部	1.54	1.40	1.66	1.80	0.73
東部	1.56	1.52	1.74	1.97	0.85
全日制合計	1.76	1.65	2.15	2.37	1.05

※H24の値は旧制度(推薦入試)実施時のもの

3 前期選抜調査(全日制)…学科別

学科	H28	H27	H26	H25	H24※
普通	2.05	1.86	2.66	2.83	1.22
農業	1.30	1.03	1.33	1.10	0.45
工業	1.64	1.54	1.69	1.90	0.89
商業	1.23	1.27	1.60	2.04	0.96
水産	1.03	0.89	1.18	1.52	0.51
体育	1.83	1.96	2.27	2.82	1.42
英語	2.00	1.79	2.46	2.38	1.09
家庭	1.56	1.10	1.81	2.17	0.92
看護	2.58	2.25	2.75	2.17	1.81
理数	0.85	1.54	1.28	2.22	1.00
美術	2.75	3.00	2.30	3.75	0.96
総合	1.20	1.30	1.24	1.47	0.60
福祉	1.13	1.31	—	—	—
災害科学	1.94	—	—	—	—
全日制合計	1.76	1.65	2.15	2.37	1.05

※H24の値は旧制度(推薦入試)実施時のもの

4 学校・学科別の志願倍率（全日制）

(1) 志願者調査

(H28)

No.	学校名	学科名	倍率
1	仙台工	建築科	2.60
2	仙台三	普通科	2.33
3	泉	普通科	2.25
4	仙台一	普通科	1.95
4	宮城工	インテリア科	1.95
6	宮城工	情報技術科	1.90
7	名取	家政科	1.88
7	仙台南	普通科	1.88
9	白石	看護科	1.85
10	石巻工	建築科	1.75

(H27)

No.	学校名	学科名	倍率
1	仙台工	建築科	2.50
2	古川工	土木情報科	2.15
3	仙台三	普通科	2.13
3	宮城工	情報技術科	2.13
5	名取	家政科	2.00
6	宮城野	美術科	1.98
7	仙台一	普通科	1.95
8	松島	普通科	1.94
9	宮城工	インテリア科	1.93
10	仙台南	普通科	1.87

(2) 前期選抜調査

(H28)

No.	学校名	学科名	倍率
1	仙台一	普通科	6.66
2	仙台三	普通科	4.71
3	宮城工	インテリア科	3.38
4	多賀城	普通科	3.32
5	石巻工	建築科	3.06
6	宮城一	普通科	3.02
7	古川	普通科	2.97
8	宮城工	情報技術科	2.88
9	仙台工	建築科	2.83
9	登米	普通科	2.83

(H27)

No.	学校名	学科名	倍率
1	仙台一	普通科	6.17
2	仙台三	普通科	4.07
3	松島	普通科	3.25
4	宮城工	インテリア科	3.00
4	仙台工	建築科	3.00
4	宮城野	美術科	3.00
7	古川	普通科	2.97
8	多賀城	普通科	2.87
9	宮城工	情報技術科	2.81
10	石巻	普通科	2.64

5 平成28年度に学科改編を行う学校・学科の志願倍率等

(1) 志願者調査

学校名	学科名	募集定員	志願者	倍率
多賀城	災害科学科	40	40	1.00

(2) 前期選抜調査

学校名	学科名	募集人数	志願者	倍率
多賀城	災害科学科	16	31	1.94

6 平成27年度に学科改編を行った学校・学科の志願倍率等

(1) 志願者調査

学校名	学科名	募集定員	H28		H27	
			志願者	倍率	志願者	倍率
登米 総合産業	農業科	40	38	0.95	33	0.83
	機械科	40	41	1.03	38	0.95
	電気科	40	24	0.60	13	0.33
	情報技術科	40	28	0.70	32	0.80
	商業科	40	20	0.50	21	0.53
	福祉科	40	34	0.85	38	0.95
合計		240	185	0.77	175	0.73

(2) 前期選抜調査

学校名	学科名	募集人数	H28		H27	
			志願者	倍率	志願者	倍率
登米 総合産業	農業科	16	18	1.13	7	0.44
	機械科	16	15	0.94	21	1.31
	電気科	16	10	0.63	9	0.56
	情報技術科	16	10	0.63	15	0.94
	商業科	16	10	0.63	12	0.75
	福祉科	16	18	1.13	21	1.31
合計		96	81	0.84	85	0.89

7 平成26年度に学科改編を行った学校・学科の志願倍率等

(1) 志願者調査

学校名	学科名	募集定員	H28		H27		H26	
			志願者	倍率	志願者	倍率	志願者	倍率
松島	観光科	80	70	0.88	60	0.75	28	0.35

(2) 前期選抜調査

学校名	学科名	募集人数	H28		H27		H26	
			志願者	倍率	志願者	倍率	志願者	倍率
松島	観光科	24	31	1.29	32	1.33	13	0.54

8 今後の入試日程

(1)第2回志願者予備調査		1月 6日(水)~1月 8日(金)
(2)前期選抜	出願期間	1月12日(火)~1月15日(金) 午前11時
	学力検査・学校独自検査	2月 3日(水)
	合格発表	2月12日(金) 午後4時
(3)後期選抜	出願期間	2月23日(火)~2月26日(金) 午前11時
	学力検査	3月 9日(水)
	合格発表	3月16日(水) 午後3時
(4)第二次募集	出願期間	3月17日(木)~3月18日(金) 午後3時
	学力検査等	3月23日(水)
	合格発表	3月23日(水)または3月24日(木)

平成27年度公立高等学校「みやぎ学力状況調査」の結果について（概要）

1 目的	生徒の学力状況及び学習状況等について調査し、各学校における学習指導及び進路指導等の改善に役立てる。
2 調査対象	公立（県立、仙台市立、石巻市立）高校1年生約15,000人、2年生約14,800人
3 実施期間	平成27年7月2日（木）～7月10日（金）
4 調査内容	○学力状況に関する調査：2学年 ・国語、数学、英語の3教科：A問題（基本）、B問題（応用）を選択 ○学習状況、震災後の心身の健康及び「志教育」等に関する調査：1,2学年

5 学力状況に関する調査結果の概要（2学年）		別冊P. 2～22	共通問題正答率
国語	○漢字等の知識は身に付いているが、論理的に正答を導き出す力に課題 ・基本的な漢字の読み書きは定着しているが、言語事項の理解に課題がある。 ・現代文では、要旨や心情の変化を根拠を持って捉えていく力、古典では、基本的な知識と登場人物の状況・心情などを正確に読み取る力に課題がある。		42.2
数学	○基礎的な技能の定着は見られるが、条件を読み取り、立式する力に課題 ・命題の真偽判定や二次方程式・二次不等式の解法等はある程度定着している。 ・問題文から必要な条件を読み取り、適切に活用して式に表現する力に課題が見られる。		42.2
英語	○基本的な知識は身に付いているが、長文の要点や概要を把握する力に課題 ・代名詞や現在分詞の後置修飾など、基本的な知識については定着が見られる。 ・長文の内容全体にわたって問われたものや、前後関係から語の意味を推測する力に課題が見られる。		48.0

6 学習状況等に関する調査結果の概要（1学年・2学年）		別冊P. 23～29
学習	○大学や短大への進学希望は、震災前の水準に回復。進路未定者は、1年時から半減。 ○授業が概ね理解できる生徒の割合は増加、2年時の家庭での学習時間は減少。 ○家庭学習の悩みは「集中できない」が最も多く、長続きしないと合わせると約半数。 ○目標の提示や振り返り、発表、話し合い活動が取り入れられた授業では、定着度が高い。	
生活	○学校生活については、充実感や満足感を感じる生徒の割合は8割。 ○朝食を「必ず取る」「たいてい取る」生徒は約9割。睡眠時刻も約8割の生徒が固定。 ○スマートフォン等を平日に2時間以上使用している生徒は約半数、「勉強しながら」「テレビを見ながら」「食事をしながら」といった、「～しながら」の利用が多く、学習習慣や睡眠・生活習慣への影響が懸念される。	
志教育	○「人が困っている時は進んで助ける」「人の役に立つ人間になりたい」「自分に責任を持って行動している」等、志教育に係る質問では、いずれも肯定的回答の割合が増加している。	
入試	○入試は、学習意欲の喚起や学習習慣の形成に役立っていると7割の生徒が回答。 ○入試は、将来について考える機会になったと8割の生徒が回答。 ○入試は、学校生活の充実につながっていると、およそ6割の生徒が回答。	

7 今後の取組		別冊P. 30
○「分かる授業」の実践	○家庭学習時間の確保	○「志教育」の推進
○生活習慣の改善	○家庭と学校との連携	○自己教育力を高める取組

「みやぎの協働教育に係る懇話会」の意見書について

はじめに

本県の協働教育が、県の施策として推進されるようになって10年が経過し、この間に、協働教育の考え方が理解され、多くの市町村や学校で実践されるようになり、学校教育や地域づくり、地域住民の生きがい形成など、さまざまな分野で大きな成果を上げてきた。

しかしながら、東日本大震災によって子どもを育てる環境が大きく変化し、家庭・地域・学校が協働して子どもを育てる仕組みの再構築が迫られていることなどから、県内各市町村や小・中学校、コーディネーター等へのアンケート調査結果及び聴き取り調査結果なども踏まえ、本県における今後の協働教育のあり方とそれを具現化するための方策をまとめたものである。

1 これまでの「みやぎの協働教育」の取組

（1） 「みやぎの協働教育」推進に向けたこれまでの取組

- 平成17年度
「みやぎらしい協働教育推進事業」の取組開始
(コラボスクール事業, 起業教育推進事業, 学校支援地域本部事業)
- 平成21年2月
村井嘉浩知事による「宮城県協働教育推進宣言」
- 平成23年9月
本県の協働教育の取組が、優秀施策(ベストプラクティス)として全国知事会から表彰
- 平成23年度
国の委託事業「学びを通じた被災地の地域コミュニティ再生支援事業」を活用した「協働教育推進総合事業」の取組開始
(市町村委託事業として「協働教育プラットフォーム事業」を実施)

（2） 「みやぎの協働教育」の成果

① 学校教育支援による体験活動の充実

- 体験活動の機会の増加, 児童生徒の学習意欲の向上
- 志教育の推進

② 地域全体で子どもを育てる気運の高まり

- 学校教育への地域人材の活用促進
- 学びの場を介しての学校と地域の相互理解促進

③ 地域住民の自己実現の場の創出

- 地域住民の「生きがづくり」, 「自己実現」の場の創出
- 住民同士の交流による地域コミュニティ再生の足掛かり

④ 地域と学校をつなぐ仕組みの整備

- コーディネーター, ボランティアの計画的な育成
- 校務分掌に「協働教育担当」を位置づける学校の増加

(3) 「みやぎの協働教育」の課題

① 現代的課題

〈イ 地域コミュニティの課題〉

- 人口減少や家庭の孤立化, 災害公営住宅への移転や仮設住宅の集約等に伴う新しいコミュニティの構築, 住民ネットワークの再構築
- 震災からの復旧・復興, 地域づくりを担う人材の育成

〈ロ 学校教育の課題〉

- 多様な価値観を持った人々との交流機会の減少
- いじめやインターネットトラブル等の問題行動, 不登校児童生徒の増加等への対応
- 新しい教育課題 (アクティブ・ラーニング, コミュニティ・スクール) への対応

〈ハ 家庭教育・子育ての課題〉

- 育児不安を抱える親の増加
- 地域全体で子どもを見守る環境づくりの推進

② 本県におけるこれまでの取組からの課題

〈イ 地域の課題〉

- 若い世代のコーディネーターやボランティアの養成
- 新しい課題に対応できるような研修の充実と交流の場, ネットワークの拡大

〈ロ 学校・行政の課題〉

- 全教職員の協働教育に対する理解の向上
- 地域コーディネーターとの連絡・調整時間の確保
- コーディネーターやボランティアを支援する社会教育関係職員のスキルアップと適正配置

〈ハ 家庭教育支援の課題〉

- 支援が届いていない, より深刻な問題を抱える親へのサポート
- 養成した子育てサポーター, サポーターリーダーの活動の場の拡大

2 これからの「みやぎの協働教育」が目指す方向性

(1) コミュニティづくり・地域おこしの核となる協働教育の推進

① 「協働力」の育成

- 「地域の課題に主体的に働きかけ、多様な人々と協働しながら課題を解決する力」の育成
(協働力：主体的に考える態度，他者を理解する態度，コミュニケーション力，協調的な課題解決力，参画意欲)

② コミュニティづくり・地域活動への子どもたちの参画

- 子どもたちの参画の意義と必要性の普及・啓発
- 生徒の地域活動への参画が，学校や地域において認められ適切に評価される制度づくり

③ 地域おこしにつながる協働教育の推進

- 教室の学びと地域活動の「橋渡し役」となる地域人材の活用
- 「橋渡し役」を通じ，教室での学びを地域につなぐことでの新たな地域活動の創出
- 個人的な「生きがい」が地域への貢献につながる取組の推進

④ 協働教育の仕組みを生かした防災・減災教育の推進

- 学校の防災主任，防災担当主幹教諭を窓口とした地域連携の推進
(防災・減災教育を窓口とした，地域連携体制の構築)
- 防災・減災教育にかかわるコーディネーターやボランティア等の研修内容の充実

(2) 学校教育支援の充実

① 「家庭・地域・学校の協働」による「志教育」の充実

- 指導計画への学校支援ボランティア活用等の明記と学校と地域コーディネーターの協働による指導計画の作成促進

② 協働教育の仕組みを生かしたコミュニティ・スクールの推進

- コミュニティ・スクールの導入を見据えた協働教育組織の活用

③ 協働教育の仕組みを生かしたアクティブ・ラーニングの推進

- 学校，市町村社会教育主事，地域コーディネーターの連携によるカリキュラムの改善
- アクティブ・ラーニングへの理解を深めるためのコーディネーターやボランティアの研修内容の改善

(3) 家庭教育支援の充実

① 支援者・団体のネットワークの構築と連携

- 家庭教育にかかわる支援者・団体の情報の共有化とネットワークの構築

② 柔軟性のある家庭教育支援事業の実施

- 親の実情や地域の現状を踏まえた支援・活動となるようなアウトリーチ型の事業の推進

③ 次代の親の育成に向けた学習の実施

- 次代の親の育成に向けた学習プログラムの充実と学校の指導計画への位置付け，普及・啓発

3 「みやぎの協働教育」の仕組み・組織において充実すべき事項

(1) コーディネート機能・推進組織の充実

① 学校のコーディネート機能の向上

- 地域連携，協働担当の校務分掌への明確な位置づけとその役割への社会教育主事有資格者の活用

② 新しい組織とのネットワークの構築

- 民間やNPO，ボランティア団体等多様な団体の積極的な参画促進

③ 地域ユースネットワークの構築

- 若者が独自の活動を大事にしながらも，目的や興味関心がマッチする事業や活動に，気軽に参画できるシステムの整備

(2) 研修・交流の充実

① 教職員の協働教育に対する理解向上

- 教職員の協働教育に対する理解向上のための研修の充実
- 「みやぎの協働教育リーフレット」の作成等による学校の管理職等の協働教育に対する理解促進

② 社会教育関係職員等の研修の充実

- 県・教育事務所社会教育主事等が市町村等に出向き，市町村職員等と協働しての学習プログラムの開発・実践化に向けた支援

③ 交流の場の拡大

- 公民館や学校の空き教室等を活用したボランティア，教職員，児童生徒が自由に出入りできる交流の場（プラットフォーム）の設置促進

教育庁関連情報一覧（平成27年10月13日～平成27年11月17日）

資料配付（1）

1	<p>○点字ブロック啓発活動を実施 視覚障害者のための点字ブロックの上に、自転車等の車両や荷物などが無作為に置かれていく現状を改善し、視覚障害者の歩行の安全を守るために、点字ブロック等に関する理解・啓発を行った。</p> <p>【概要】 期 日 平成27年10月14日（水）午後1時30分から午後2時20分まで 場 所 JR仙台駅2階ペデストリアンデッキ 駅出入口付近 内 容 県立視覚支援学校の生徒、教職員、保護者が、点字ブロック等への理解、啓発のため、ラベル入りポケットティッシュを配り、通行する人呼び掛けを実施</p> <p>(担当：特別支援教育室)</p>
2	<p>○志教育フォーラム2015～志が未来をひらく講演会～を開催 児童生徒が将来にわたり自らの生き方を主体的に探求する意欲をもつことの大切さを広く県民の皆様知らせ、志教育の理念の一層の普及・啓発を図るため、志教育フォーラム2015～志が未来をひらく講演会～を開催した。</p> <p>【概要】 日 時 平成27年10月17日（土）午後1時から午後3時45分まで 場 所 名取市文化会館 中ホール 内 容 (1) 実践事例紹介 ① みやぎの先人集「未来への架け橋」活用事例紹介（気仙沼市立津谷小学校） ② 「志教育支援事業」推進地区の取組紹介（加美町立中新田中学校） (2) 講演 テーマ「志が未来をひらく」（講演と歌） 講 師 さとう 宗幸氏 対 象 一般県民（教職員、教育関係者、保護者、児童生徒含む。） 参 加 約300人</p> <p>(担当：義務教育課)</p>

○宮城県選手が全日本防具付空手道選手権大会で優勝

第53回全日本防具付空手道選手権大会に出場し、優秀な成績を収めた宮城県防具付空手道連盟に所属する選手及び関係者が、その報告のため10月15日（木）に県を表敬訪問した。

【大会概要】

大会名 第53回全日本防具付空手道選手権大会
 期 日 平成27年9月23日（水）
 会 場 東京都 東京武道館
 結 果 組手個人 優勝12名，準優勝12名，第3位17名
 組手団体 優勝 宮城県Aチーム（小学生男子の部）
 準優勝 宮城県Bチーム（小学生男子の部）
 第3位 宮城県Aチーム（一般男子の部）
 型 個人 優勝1名，第3位1名



(担当：スポーツ健康課)

○みやぎ高校生マナーアップフォーラム2015を開催

みやぎ高校生マナーアップ運動の一環として、みやぎ高校生マナーアップフォーラム2015が開催されました。紙コップやストローなどを材料に2グループが言葉のやりとりだけで高さ等を擦り合わせ、橋をつなげて完成させる等のワークショップに取り組んだ。参加した生徒はこのワークショップを通して人間の気持ちの動きや意思疎通の難しさを体感することで、他者を尊重することの大切さなど、いじめをなくすために自らができることについて学んだ。

【概要】

日 時 平成27年10月20日（火）午後1時から午後3時45分まで
 場 所 宮城県庁行政庁舎2階 講堂
 講 師 (株) プロジェクトアドベンチャージャパン（PAJ） 高野 哲郎氏
 内 容 ワークショップ（生徒対象）
 テーマ「いじめをなくすために私たちにできること」
 参加生徒 県内高等学校 代表生徒158名，教員69名



(担当：高校教育課)

〇みやままることフェスティバル2015に県内11の専門高校が出展

県内の農林水産業者、製造加工業者、販売業者及び技能者等が一堂に会し、県産品や技能者の作品等の展示・販売・実演を行うことで、県産品の消費拡大及び地場産業の振興を図る、みやままることフェスティバル2015が開催されました。高校生も、県内11の専門高校が出展し、実習生産物の販売や、パネル、作品の展示等を通じて、日ごろの学習成果を県民の皆様へ情報発信しました。



【概要】

日 程 平成27年10月17日(土)・18日(日)

会 場 宮城県庁1階フロア・県庁前駐車場・勾当台公園・市民広場

内 容 ① 17日(土)

南郷高校 (農産物販売 (シクラメン, パンジー, ネギ, 米等))

小牛田農林高校 (農産物販売 (シクラメン, タマネギ, 米等))

黒川高校 (PRパネル及び作品展示)

仙台商業高校 (開発商品販売 (仙臺サイダー, 仙臺油麩マーボー焼そば, 杜の美豆溜))

県水産高校 (パネル展示・実習製品販売 (マグロ油漬缶詰, 干物類等))

気仙沼向洋高校 (実習製品販売 (サンママ味付け缶詰等))

② 18日(日)

柴田農林高校 (農産物・加工品販売 (リンゴ, 里芋, ジャム等))

白石工業高校 (合成樹脂成形品の展示等)

桜坂高校 (広島商業高校や地元企業と連携した販売実習と学校紹介)

村田高校 (学校紹介, 生徒作品展示と販売 (バーベキューコンロ・鉄板))

大河原商業高校 (研究活動報告, 開発商品販売 (ポテトチップス梅味))

みやぎ産業教育フェア広報ブース (募集ポスター作品展示・パンフレット配布)



(担当：高校教育課)

○みやぎ教育の日推進大会を開催

みやぎ教育の日推進大会は、「みやぎ教育の日を定める条例」が制定された平成17年度に実施したみやぎ教育の日制定記念式典を含め、毎年、県教育委員会とみやぎ教育の日推進協議会との共催で実施しているもので、今年で11回目を迎えた。

【概要】

- 日時 平成27年11月4日（水）午後1時30分から午後4時まで
場所 ホテル白萩「錦の間」
内容 (1) 発表「ペイ・フォワードと世界の未来」
岩沼市立岩沼中学校2年 高橋 怜さん
JICA 国際協力中学生・高校生エッセイコンテスト
2014年度中学の部 最優秀賞 JICA 理事長賞 受賞
(2) 実践発表「中学校と地域が協働する防災教育活動プラン」
仙台市立南吉成中学校 教諭 鎌田 和之氏
パナソニック教育財団 ころろを育む総合フォーラム
2014年度 最高賞 全国大賞 受賞
(3) アトラクション 「鯛釣り舞」
塩竈市立第三小学校 郷土芸能クラブ
2012年8月 第14回全国こども民族芸能大会に招待出演
(4) 講演 演題「教育の夢と感動・それを支えてくれたもの」
講師 木村 民男氏（石巻専修大学人間学部教授）



(担当：総務課)

○平成27年度みやぎ産業教育フェア「さんフェア宮城2015」を開催

県内の専門高校等で学ぶ生徒が一堂に会し、「さんフェア宮城2015」が開催されました。みやぎ産業教育フェアは、昨年11月、本県を会場に開催されました「全国産業教育フェア宮城大会」の成功を契機として開催したもので、県大会としての実施は、平成15年度以来、実に12年ぶりとなりました。

当日は、各専門学科の研究発表や意見発表、製作作品の展示のほか、体験コーナーや交流イベントも用意され、4万人を超える多くの来場者がありました。

【概要】

開催日	平成27年11月7日（土）
場 所	県庁1・2階，県庁正面玄関前，勾当台公園
参加校	産業教育に関する専門高校等（農業・工業・商業・水産・家庭・看護・福祉・総合学科・特別支援学校）
内 容	47校，約1,000名 意見・体験発表，作品・研究発表，作品展示，学校生産物展示販売，体験・実演ほか
来場者	約40,000人



(担当：高校教育課)

8	<p>○農業高等学校の生徒が県教育委員会で職場体験実習</p> <p>農業高等学校では、毎年、地元企業などを中心に職場体験実習を行っています。今年度は、2年生の生徒2人が、県教育委員会で統計資料の作成や整理の事務補助を体験学習したほか、教育庁各課室の業務について説明を受けるなど、教育委員会の仕事を幅広く学びました。</p> <p>【概要】 期 日 平成27年10月21日(水)～10月23日(金) 場 所 教育庁総務課, 高校教育課</p>  <p>(担当：高校教育課)</p>
9	<p>○平成27年度みやぎサイエンスフェスタを開催</p> <p>県内小学校・中学校・高等学校及び大学等の研究機関の連携による科学の祭典「みやぎサイエンスフェスタ」が開催されました。</p> <p>【概要】 開催日 平成27年11月14日(土) 場 所 宮城県第三高等学校 内 容 (1) 口頭発表 (2) 国際交流・サイエンスカフェ・科学実験教室 (3) ポスター発表 科学研究実践活動推進を実施する宮城県内の高校生を中心に、SSH指定校の高校生、小・中学生、大学院生、研究機関を加えた発表会</p> <p>対 象 中高生の科学研究実践活動推進プログラムにおける科学研究実践活動を行う生徒及び県内のSSH指定校の生徒、宮城県内の小中学生、大学・研究機関関係者等</p>  <p>※ 「みやぎサイエンスフェスタ」は、国立研究開発法人科学技術振興機構の事業である中高生の科学研究実践活動推進プログラムの指定を受け、県内小学校・中学校・高等学校及び大学等の研究機関の連携「みやぎサイエンスネットワーク」により行われる科学の祭典です。</p> <p>(担当：高校教育課)</p>

○宮城県選手が「2015紀の国わかやま国体」で活躍

第70回国民体育大会 2015紀の国わかやま国体に、宮城県代表として出場した選手のうち、優勝に輝いた各競技の選手がその報告のため11月4日（水）に県を表彰訪問した。

【大会概要】

大会名 第70回国民体育大会 2015紀の国わかやま国体
期 日 平成27年9月26日（土）から10月6日（火）まで
会 場 和歌山県（9市12町1村）
結 果 【優勝】 ボート 成年男子 ダブルスカル
自転車 成年男子 ポイントレース
少年男子 ケイリン
馬術 少年 団体障害飛越
ライフル射撃 成年男子 センタ・ファイア・ピストル
成年女子 50mライフル伏射
カヌー 少年男子 スプリントカヤックシングル



（担当：スポーツ健康課）

10

○平成27年度医師を志す高校生支援事業 医師会講演会・病院見学会開催

将来、宮城県で医師として地域医療に取り組み志を持った高校生を支援する事業として宮城県医師会との共催により、医師会講演会及び病院見学会を開催した。本年で6回目の実施。医師会講演会においては、研修医・大学病院助教・医院院長の3人から医師としての生活と生きがい等についてお話をいただいた。病院見学会では、研修医や医師に講話をいただくとともに病院の施設を見学し、地域医療について考える機会を持った。

【概要】

(1) 医師会講演会

開催日 平成27年11月14日（土） 午前
場 所 宮城県仙台二華高等学校
対 象 高校1・2年（参加者1年76人、2年42人 計118人）

(2) 病院見学会

開催日 平成27年11月14日（土） 午後
場 所 栗原市立栗原中央病院
対 象 高校2年生（参加者41人）



（担当：高校教育課）

11

誰にでも未来を創る能力(ちから)がある

多賀城高校に災害科学科が誕生します



平成28年4月、県内で初めて、全国で2例目の防災系専門学科「災害科学科」が多賀城高校に誕生します。東日本大震災から学んだ教訓を将来にわたり語り継ぎ、今後、国内外で発生する災害から一人でも多くの命と暮らしを守っていくための人づくりを目指します。

「命と暮らしを守る」未来の創造者を育てます

「災害科学科」における学習内容

災害科学科では、大学や研究機関と協力し、安全や防災の内容を重視した「暮らしと安全」、情報活用を中心とした「情報と災害」、フィールドワークや実験・実習を重視した「自然科学と災害」、地理と災害の関係などを重視した「社会と災害」など特色ある学習を行います。

卒業後の進路

大学や上級学校への進学を目標とし、特に、自然環境や災害への備えを研究する学科や医療・看護、都市計画や社会工学、心理学などを研究する学科へつながる学習を行い、将来は研究者や技術者、各分野のスペシャリストを目指します。



—20年後、30年後の日本、世界の科学・技術のあり方—
災害から見いだされる諸課題（自然災害、二次災害）

津波波高標識の設置



●津波波高標識の設置活動

開設に向けた取組

災害科学科の開設に向け、これまで県内外の大学や研究機関と連携した講義や実習、津波波高の標識設置、防災ワークショップや被災地ガイドボランティアなど、被災経験をもとにした様々な活動を通して、自身の防災意識を高めるとともに、科学的視点から防災・減災を考え、自らが他者と交流する防災教育を行ってきました。

このような防災・減災の教育活動の取組は、今年3月に仙台市で開催された国連防災世界会議の「世界防災Jr.会議」において発表し、最高賞の「金賞」を獲得しました。



●通学防災マップ作成



●「世界防災Jr.会議」 「金賞」受賞



『こころの復興フォーラム』 ～ 子どもたちの未来のために ～ を開催

8月11日（火）、東京エレクトロンホール宮城を会場に「こころの復興フォーラム」を開催しました。

フォーラムでは、県保健福祉部次長兼子ども総合センター所長本間博彰氏の「大震災から5年目の子どもたち」と題した基調講演、そして、「子どもたちの未来のために」～こころの復興をめざして 学校の現状から～をテーマに、5名によるパネルディスカッションが行われました。



800人を超える県内の公立・私立の小・中・高・支援学校の管理職など教育関係者が参加し、東日本大震災から4年が経過した現在の児童・生徒や教職員の状況、学校現場をあずかる管理職としての対応方策などについて、情報と認識を共有する貴重な機会となりました。



●基調講演をされた本間先生

キッズデザイン賞復興支援部門奨励賞を受賞 副読本「未来への絆」

8月3日、県で作成した防災教育副読本「未来への絆」が、東京のキッズデザイン協議会から復興デザイン部門奨励賞を受賞しました。

副読本は、小学校における防災教育の教材として、単なる知識の習得だけではなく、体験活動の視点を取り入れ、非常時に命を守る力を身に付けることができるよう工夫しています。また、震災を体験した児童生徒の作文や地域の方の記録なども記載されています。

これまで小学校編を発行し、幼稚園編・中学校編・高等学校編は、来年3月の発行を予定しています。



みやぎ防災教育推進協力校の取組紹介

地域の教材を活かした防災教育の実践 栗原市立栗駒小学校

栗原市立栗駒小学校では、栗駒山麓ジオパーク推進協議会と連携した防災教育を進めています。

栗原市は、平成20年6月14日に発生した岩手・宮城内陸地震で、栗駒山麓が大規模な崩壊をするなど、甚大な被害があった地域です。

10月30日に実施された6年生のジオパーク学習では、栗駒山麓の地形・地質の特徴や岩手・宮城内陸地震のことについて、現地を見学しながら「ジオガイド」から説明を受けました。その後、崩落現場が見える場所で、地すべりが起こる仕組みの実験や陥没カルデラ実験などの体験学習を行いました。

栗駒小学校では、今後も、協議会と連携し、総合的な学習の時間や教科の学習に関連付けた防災教育に取り組んでいきます。



●シミュレータ「ユレオ」を活用した地すべりのメカニズムについての学習



無断転用禁止

宮城県教育庁教職員課・スポーツ健康課

〒980-8423 仙台市青葉区本町3-8-1
TEL 022-211-3639 FAX 022-211-3698
TEL 022-211-3662 FAX 022-211-3796

●このリーフレットの制作は平成27年11月です。

平成28年3月高等学校卒業予定者の就職内定状況(10月末現在)について

	H27.3月末	H27.7月末	H27.8月末	H27.9月末	H27.10月末	前年同月	増減 (当月-前年同月)
内定率	98.9%	—	—	44.0%	67.6%	67.7%	-0.1%
男子	99.3%	—	—	46.9%	69.7%	69.6%	0.1%
女子	98.3%	—	—	40.3%	64.8%	65.2%	-0.4%
全国平均	97.5%	—	—	—	—	—	—

内訳

卒業者	19,917	19,861	19,850	19,839	19,827	19,987	-160	
進学希望者	14,900	14,609	14,622	14,628	14,689	14,872	-183	
臨時的仕事希望者	243	30	41	52	82	86	-4	
進路未定者	44	193	136	107	98	98	0	
就職希望者	4,730	5,029	5,051	5,052	4,958	4,931	27	
内訳	県内	3,845	4,397	4,292	4,247	4,103	4,112	-9
	県外	885	632	759	805	855	819	36
	職安・学校紹介	4,098	4,204	4,217	4,198	4,224	4,148	76
	縁故・自営	265	130	149	167	178	215	-37
	公務員	367	695	685	687	556	568	-12
内訳	就職内定者	4,677	—	—	2,223	3,350	3,339	11
	県内	3,798	—	—	1,712	2,629	2,640	-11
	県外	879	—	—	511	721	699	22
	職安・学校紹介	4,066	—	—	2,176	3,216	3,131	85
	縁故・自営	245	—	—	46	82	111	-29
公務員	366	—	—	1	52	97	-45	
就職未内定者	53	—	—	2,829	1,608	1,592	16	
月間受験者数	71	—	—	4,153	1,074	822	252	

【概況】※()内は前年同月

- ① 就職内定率 : 67.6% (67.7%)
- ② 進路希望の割合状況 : 進学 74.1% (74.4%) 就職 25.0% (24.7%)
 臨時的仕事 0.4% (0.4%) 未定 0.5% (0.5%)
- ③ 就職希望者の割合 : 県内 82.8% (83.4%) 県外 17.2% (16.6%)
- ④ 県内外の内定率 : 県内 64.1% (64.2%) 県外 84.3% (85.3%)
- ⑤ 内定者の割合 : 県内 78.5% (79.1%) 県外 21.5% (20.9%)
- ⑥ 学科別内定率

学科別内定率	普通科	農業科	工業科	商業科	水産科	家庭科	その他	総合学科
平成27年度	54.1%	75.9%	85.5%	72.0%	68.3%	72.8%	53.3%	71.6%
平成26年度	56.4%	72.4%	83.2%	69.0%	80.2%	64.8%	66.7%	72.7%

⑦地域別内定状況

地域別内定率	仙台	大和	石巻	塩釜	古川	大河原	白石	築館	迫	気仙沼
平成27年度	65.5%	77.6%	58.6%	58.3%	76.5%	68.2%	85.4%	64.1%	66.0%	67.6%
平成26年度	66.7%	62.1%	60.1%	61.1%	71.5%	69.6%	88.5%	70.0%	70.1%	64.5%

⑧宮城労働局発表 県内求人倍率(9月末現在)(職安学校紹介のみ、ただし支援学校・通信制含む)

	22年3月卒	23年3月卒	24年3月卒	25年3月卒	26年3月卒	27年3月卒	28年3月卒
県内求人数	2,748	2,647	3,009	5,473	6,643	8,357	8,880
県内求職者数	3,916	3,850	3,098	3,481	3,512	3,459	3,459
求人倍率	0.70	0.69	0.97	1.57	1.89	2.42	2.57